

# (一社)みやぎ工業会・技術交流委員会 DX 推進セミナー

## 「“D”と“X”に分けて DX を考える」

技術交流委員会では、活動テーマの一つに「DX 推進」を掲げており、毎年これに係るセミナーを開催しています。

既に DX に取り組んで、実際に成果を上げている企業も多いと思います。しかし、思うように成果が出せていない、あるいはデジタル人材が不足していて、なかなか取り組みが進んでいないなど、悩んでいる企業も多いのではないのでしょうか。

今回の DX 推進セミナーでは、3 人の講師の方にそれぞれの立場から、3 つのテーマで講演を行っていただきます。

DX は「デジタル化技術」を活用した業務やビジネスモデルの「変革」と言われますが、「デジタル化」の“D”の方にばかりに目が向き、肝心の「変革」である“X”がおろそかになっているということはありませんか？

1 つ目のテーマは、MISA の方に、“X”に着目して、DX の本質や推進人材について解説して頂きます。2 つ目は、アルプスアルパイン・身の丈 DX/IoT プロジェクトの方に、DX 化の推進支援をしている立場から、目指す姿に向けて段階的に業務の「変革」を進めていく方法について解説して頂きます。そして 3 つ目は、複合学習スクールを運営している PLOT に、DX を推進するための自社の人材育成への取り組みについて講演していただきます。

尚、今回は居酒屋でもある DUCCA 仙台駅前店の会議室で、円卓着座形式でセミナーと懇親会をセットで開催し、セミナーのあとそのまま懇親会を始めます。このため、アルコールプレスト的な議論ができることを期待しています。是非、皆様のご参加をお待ちしております。

■日 時: 令和7年10月1日(水) セミナー 15:00~17:00、懇親会 17:00~19:00

■会 場: DUCCA 仙台駅前店(仙台市青葉区中央 3-6-10 フージャース仙台駅前ビル 3F)

### ■プログラム

#### (1) 現場の DX 推進に求められる“X”の基礎素養について

宮城県情報サービス産業協会(MISA) 事務局・企画プロデューサー 庄子 栄光 氏

#### (2) 身の丈 DX への取り組み方、進め方

アルプスアルパイン株式会社 身の丈 DX/IoT プロジェクト 長野 智恭 氏

#### (3) 「具体的な取り組み」と人材育成(リスクリング)

株式会社長島製作所 代表取締役社長 新宮 由紀子 氏

システム開発部 山内 彩 氏

■募集人数: 20 名~30 名程度

■参加費: 6,000 円(税込、懇親会付き)※参加費は当日、現金でお支払い下さい。

■申込み方法: 下記の申込フォームでお申込み下さい。

<https://forms.gle/QCgfZN3j2L33kTRK8>

■申込み締切: 2025 年 9 月 22 日(月)

## プログラム詳細

### ◆今回の「DX 推進セミナー」のテーマについて

今やバズワードとなってしまっている DX は、何をどうしたいかもなく、「見える化」や「データ化」が先行し、多くが行き詰まる傾向となっている。

DX を「D」と「X」に分けて考えると、その進め方の多くが見えてくる。「X」先行での考えを分かりやすく説明し、「X」に係る進め方の具体例を掲げながら、「D」への具体的な取り組みを紹介する。

### ◆演題および講演者

#### (1) 現場の DX 推進に求められる“X”の基礎素養について

宮城県情報サービス産業協会 事務局 企画プロデューサー 庄子 栄光 氏

##### 講演概要

“DX”は、一般的には「データとデジタル技術を活用した“変革”」と言われますが、実は決まった定義がありません。一方でトレンドワードなので、自治体、IT ベンダー、大学などの各者が、おのおの都合の良いようにこの用語を解釈し使っているという実態があります。本セミナーでは特に“X”（業務）の視点から見た DX の本質と推進人材に求められる基礎素養について理解を深めます。

##### 講師プロフィール

1971 年仙台市生まれ。東北大学経済学部卒業後、国・宮城県・仙台市出資の第 3 セクターにて、約 20 年間にわたり IT 技術者育成や産学連携教育、起業家育成、農商工連携などの企画事業を多数手掛ける。2015 年度より MISA の人材確保プロジェクト（伊達な ICT-WORK）の事業運営を担当、2018 年度より現職。MISA が実施する自治体等の委託事業の企画提案及び事業運営、研修講師を担当。

#### (2) 身の丈 DX への取組み方、進め方

アルプスアルパイン(株) 身の丈 DX/IoT プロジェクト 長野 智恭 氏

##### 講演概要

“身の丈 DX”とは。いきなりツールやシステムに飛びつくのではなく、目指す姿に向けて業務の棚卸から始めて、

“アナログ段階” ⇒ “ハイブリット段階”  
⇒ “デジタル段階”

の 3 つの段階を踏んで進めて行く取組み方を、事例を交えて解説します。

##### 講師プロフィール

1993 年、旧アルプス電気へ入社、金型と製造を現場で学んだ後、技術部にてスイッチの設計を担当。新製品の開発や、既存製品の拡販・性能改善・原価改善を行う。その後、宮城工場の技術部及び製造部にて、部門業績の分析管理、製品の原価改善、BU ビジネスシナリオの策定などを行う。2022 年より、身の丈 DX/IoT プロジェクトに参画。社外に向けた、生産性改善・DX への取組み・IoT ツールの活用などの支援を行っている。

#### (3) 「具体的な取組み」と人材育成(リスキリング)

(株)長島製作所 システム開発部 山内 彩 氏

##### 講演概要

PLOT では、中小企業向けに DX を推進するための人材育成に力を入れております。現場で即戦力として活躍できる人材の育成を目標に、業務効率化やデジタルツールの活用を通じて企業の競争力向上をサポートします。

「社員の IT スキルを向上させたいが、適切な研修が見つからない」「DX 推進のために専門知識を学び、業務効率を改善したい」「独学では続かなかった、効率よく学びたい」。PLOT が提供するリスキリング研修では、こうした課題を解決します。

##### 講師プロフィール

大学卒業後、都内大手 SIer 企業に入社。コロナ禍でのテレワーク期間中に地方への関心が高まり、岩手県平泉町で開催されたプログラミングキャンプに参加。そこで長島製作所が掲げる「働き方改革」や「福利厚生の一環としての企業内学童・学びの場の創出」というビジョンに共感し、参画を決意。以降、複合学習スクール PLOT を立ち上げ、子どもから大人までが学べる環境づくりを進めるとともに、製造業を中心とした企業の人材育成支援にも取り組んでいる。